

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第 2660 地区)

WEEKLY BULLETIN

No.31

東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日
例会日 毎週月曜日 12:30~
例会場所 シェラトン都ホテル大阪3F
事務局 東大阪市小阪本町1丁目5-14
〒577-0802 小阪本町ロイヤルハイツ 405号
TEL: 06-6753-8823
FAX: 06-6753-8826
E-mail: jahcrc@gmail.com



会長 金子勝信
会長ノミニー 佐井義昌
副会長 岡本慎一
幹事 尾崎元
会報委員長 尾崎元

BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう

第 2120 回例会 平成 31 年 6 月 17 日 (月曜日) 第 31 号

本日の例会 6月17日(月) 第2例会

- ソング 『奉仕の理想』
- 年度末会長挨拶 金子勝信会長
- 本日の献立 フランス料理ブッフェ

次回の例会 7月1日(月) 第2例会

- 佐井昌義会長挨拶及び方針説明
- 浅野光男幹事
- 国際奉・R財団: 岡本慎一会長ノミニー
- クラブ奉仕: 佐藤三千秋副会長
- 出席・情報・親睦活動: 小川高弘委員長

前回の例会 5月20日(月) 第2例会

- ゲスト 日本国際飢餓対策機構
近藤高史様
鈴木慶一ガバナー補佐
加茂次也ガバナー補佐エレクト
岩橋会員のご友人 久武なおみ様

会長挨拶 会長 金子勝信

皆さんこんにちは。

本日は、6月最初の例会ですが今年度の例会も残すところ、来週17日の年度末挨拶のみとなりました。昨日は、東輪会新旧会長幹事会に尾崎幹事、細川実行委員長、ならびに佐井次年度会長、浅野次年度幹事と出席してまいりました。

例年のことながら、今年度の会長幹事の皆さんは、なごやかな雰囲気互いの労をねぎらって、名残惜しい感じでしたが、次年度の会長幹事の皆さんは、これから始まる1年間に備えて、心なしか緊張感に包まれているような気がいたしました。昨年の今頃は、私もそうだったなと思うと少しなつかしい気がいたしました。

さて、6月はロータリー親睦活動月間です。当ク

ラブにおきましては、先週6日に、佐井次年度会長のご好意で、次年度に向けての食事会が中華の名店大東洋で開催されました。台湾の日本在中の総領事もお越しになるなど、素晴らしい会となりました。次年度に向けての会員の親睦を図る大変よい機械となりました。佐井会長本当にありがとうございました。

また、本日は後ほど、当クラブの国際奉仕プロジェクトである、ケニアのシーブケアにおけるバスプロジェクトの総括を岩橋会員に行って頂く予定です。岩橋会員どうぞ宜しくお願い致します。

幹事報告 幹事 尾崎元

1. 本日、例会終了後、新旧クラブ協議会を5階、コスモスの間にて開催いたします。鈴木慶一ガバナー補佐と加茂次也ガバナー補佐エレクトにはご出席の程よろしくお願い致します。

今年度委員長各位は今期報告書を、次年度委員長各位は次年度計画書の発表を宜しくお願い致します

次年度概況報告書及び計画書に記載いたしますので、クラブ協議会終了後には幹事にご提出をお願い致します。クラブ協議会終了後、新旧理事会が御座います。理事役員の皆様には引き続きよろしく願いいたします。

2. 次回は本年度最終例会となります。多数のご出席をよろしくお願いいたします。

出席報告 小川委員長

本日の会員数	18名
本日の出席者数	14名
本日の出席規定適用免除会員	11名
本日の出席率	88.24%
4月8日の修正出席率	100.00%

いつもハンガーゼロの活動をご理解、ご支援頂き感謝申し上げます。
ケニア・ナイロビのスラムにありますがシープケアセンター(幼稚園~中学まで全校生約700人)が、いつまでも外部からの資金協力を受け続けるのではなく、経済的に自立していくために「バス事業の自立運営」を目指し、大型バス購入の支援を東大阪中央ロータリークラブ様により頂き、2016年から5カ年計画でバスプロジェクトが始まりました。2018年のバス事業収支報告がシープケアセンターより届きましたのでご報告致します。(下記参照)

バス購入のローン(170,494円/月)が2020年4月まで続くため、2018年は収支的には年間で86,050円の収益に留まりましたが、毎月のローンが終了すればその分が学校給食や教師給与のために用いられます。

今後も順調にバス事業が進みますよう引き続きお見守り頂き、5年間の支援終了の折には、ぜひ東大阪中央ロータリークラブの皆様でシープケアセンターをご訪問、ご視察頂ければと願っています。



ナイロビ市内の地図



シープケアに続くスラムの道

ケニア・ナイロビのスラムにある学校の自立支援

学校経営の収入創出のため、51人乗り大型バスを購入し、経済的な自立にチャレンジ中!



ケニア・シープケア学校 給食支援プログラム



自立運営実現にチャレンジ

ケニアの首都ナイロビからおよそ15kmの所にスラム地域、ソコトにあるシープケア学校は、スラムの子供たちが教育を受け、全人的に成長することができるよう願って作られた学校です。一日一日を生き延びるのに精一杯で、将来の夢を描くことが困難な子どもたちが学校に通い続けるためには、給食は非常に重要で、保護者や近隣の人の協力を得てきつながら提供している学校給食が、子どもたちの命をつなぎ、学習への意欲を高めています。その結果2名のスリットランドレンから始まったこの学校には、現在750名の生徒が集い、学ぶようになりました。

バスを利用して収入創出 2010年の大干ばつによる食料価格高騰のために給食の継続が危うくなりましたが、JIFF社を通じて日本の皆さんからの支援を受け続けることができました。一方、この学校ではまだ支援を受け続けるのではなく、自分たちの手で子どもたちの教育環境を整えたいと、地元銀行の協力を得て自己採入のため収入創出プロジェクトをスタートさせました。 51人乗りのバスを購入したので

地方から出てきている人々がナイロビでは、短期滞在や長期滞在の間に大勢で訪れることになり、バスはケニアの西部とナイロビの間を運行、多くの人がバスで移動する週末にはいつもいっぱいになります。事前にローンを返済すると同時にバス事業を安定させて給食の運営を少しずつ自分たちで担い、ローン返済予定の2020年以降は、完全な自立運営を目指しています。

バス事業の開始 (ハンガーゼロ機関誌より)

シープケアセンター バスプロジェクト収支

Sheepcare Community Center 代表: ルーク牧師より

2018.1~2018.12

2018年	走行回数	総走行距離	収入	支出	備考
1月	5回	2007km	350,960円	341,694円	※主な毎月の支出 1. ローン返済 170,494円/月 2. 運転手給与 19,260円/月 3. ガソリン、洗車、メンテナンス ※バスのローン返済予定 1. ローン総額 6,148,485円 2. デポジット 642,000円 3. 利息 1,939,500円 4. 上記合計 8,729,985円 5. 月額 170,494円×48回 期間: 2016年3月 開始~ 2020年4月 返済予定
2月	4回	1543km	371,290円	320,294円	
3月	5回	1701km	361,660円	380,234円	
4月	6回	2054km	378,780円	371,654円	
5月	5回	1837km	352,030円	372,724円	
6月	3回	1292km	240,750円	302,104円	
7月	5回	1334km	298,530円	335,274円	
8月	7回	2020km	531,790円	472,234円	
9月	6回	2468km	472,940円	476,514円	
10月	4回	1514km	312,440円	329,924円	
11月	6回	2434km	461,170円	447,624円	
12月	7回	2868km	551,050円	447,089円	
合計	63回	23,072km	4,683,390円	4,597,340円	年間収支 +86,050円

- 1) バスの稼働率 月に5~6回(平均366km/回) ※地域・学校・教会などのイベントで大人数、長距離の移動に使用(51人乗り)
- 2) バス事業収支 収入 468万3390円(毎月約39万円) 支出 459万7340円(毎月約38.3万円) 年間収支 +86,050円 ※日本円計算(1.0ケニアシリング=1.07日本円)
- 3) ケニアの平均的収入例(注:あくまで概算でインフレなどによる変動あり)
 - ・学校の先生 3~4万円
 - ・公務員 7~10万円
 - ・ビジネス家、医者 20~30万円



卒業式の様子



トタン葺きの小学校校舎



大型バスと運転手(51人乗り)